

宝木だより

第32号

発行 宝木地区まちづくり協議会

(宝木地域コミュニティセンター内)

TEL・FAX 028-624-0531

宝木ぶらり⑫

新明宮

12

メートルほど北に上った左側に新明宮の社がある。毎年、渡良瀬川の氾濫による水害から逃れて、寛文十年（一六七〇年）七月に、現在の群馬県板倉町から、西原大地と言われた当地に集団で移転してきた。しかし、



この地域は水が乏しく、粟や蕎麦しか育たず、幕府も三年間年貢を免除してくれた。それでも生活は、苦しめたが、それに打ち勝つて、西岡、山崎、細谷、中丸新田（六軒）等の西原十ヶ新田が出来た。



新明宮（当時は鎮守様と呼ばれていた）も、このような時代を背景に、はつきりした年代は不明であるが、約二百年以上前程から、現在の場所に祀られている。

記憶をたどれば、約七十年前は、

深いうつそうとした落葉樹の森の中に小さな社が鎮座していた。その前の細い草道は、当時の細谷小学校（現在市営住宅）への通学路だった。

その森を抜けると、一面の畠が広がっていた。早春の麦畠に春風が吹き付け、土埃が舞い上がる情景は今でも覚えている。

この情景は今でも、脳裏に焼きついていて、思い出すと、当時の人々の情景がみんな眩しく浮かんでくる。みんな笑顔だった。

互いに助け合い、苦しい生活の中でも、当時、既に掘られていた新川から、今の宝木町郵便局の北側の通りまで、裏山の中に水路を掘り、そこから道沿いに東に流して、当時の六軒部落の防火用水としていた。

今でも、唯一、神明宮敷地内に、名残の地形（堀）が残っている。

なお、七十年の時代の流れは、神明宮の環境を、静かな森の中から、住宅街に囲まれた地域へと変えてしまった。

しかし、昔からの習わしは、一つも変えることなく、さらに、時代に即応した行事に、若者の英知が注がれるようになってきた。

この神社の一番の賑わいは、十一月三日の「あまさけ祭り」だった。当時の十一月三日の頃は、霜が降りていた。そんな中、部落の人達は、ござやむしろを抱えて集まつくる。

キッズゾーン設定に 伴う路面標示 について

みなさん、キッズゾーンという呼び名について、ご存じでしたか。

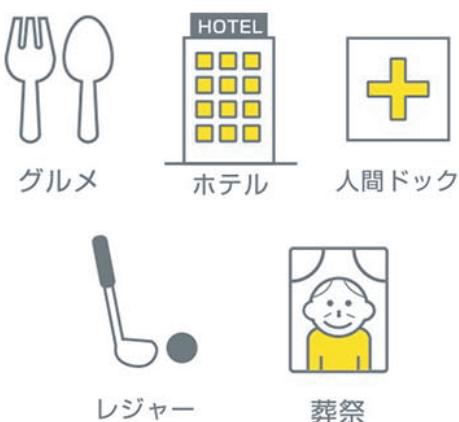
令和元年5月に滋賀県大津市で発生した、園外活動中の児童の交通事故に鑑み、園外活動中の児童の交通安全確保を目的に、設定された安全対策です。

キッズゾーンは、保育園等のある地域において、その保育園等を中心半径五百メートルの園内の道路を、キッズゾーンと設定して下のような路面標示を行いました。



これは、宇都宮市自治会連合会が発行する自治会員の優待制度です。期間は令和三年五月一日から令和六年四月三十日迄となっています。

週日お配りしました 「宮PASS」 について



自治会パスポート(カード)「宮PASS」

なお、宮PASSは、宇都宮市の自治会に加入している一世帯に一枚発行で、世帯全員が使用することができます。

また、サービス提供施設での利用方法は、各施設や店舗などによって、異なりますので、事前に確認した上で、ご利用下さい。



黒い箱が、モバイルルーターです。

最近、特にコロナ禍に於ける小學生及び中學生の自宅でのパソコンを使っての授業に脚光を浴びてきました。小学生が自宅でパソコンを使用するとなると、当然、インターネット回線（光ケーブル回線）が必要ではないかと、心配する父兄の方々がいらっしゃると思いますが、そのような設備が無くとも可能にしたものが、モバイルルーターなのです。

**みなさん
モバイルルーターを
ご存知ですか**

新任校長のご挨拶

宝木中学校長 角田 好弘



今年度、瑞穂野中学校から赴任致しました角田好弘と申します。昨年創立四十年を迎えた宝木中学校に、校長として着任できることを大変嬉しく思っております。本校には、学校のシンボル「大成の樹」や生徒が集う「かまどベンチ」など、地域の方のご協力によるものが数多く見られます。また、本校独自の「断郊協歩大会」という行事があると聞いております。これらは創立以来、保護者や地域の方々の支えがあつてのことと実感しております。我々教職員も、明るく素直な本校の生徒が、変化の激しいこれから時代をたくましく生きることができますよう、一丸となって努力して参ります。地域の皆様には、本校生徒のために引き続き、ご支援の程、どうぞ宜しくお願ひ致します。

宝木小学校長 龜和田 淳一



地域の皆様の熱い思いと大きな期待に支えられ、素晴らしい歴史と伝統を受け継ぐ宝木小学校に今年度着任いたしました。毎朝、校門で礼儀正しく挨拶を返してくれる子供たちの姿からは、開校以来の伝統がしっかりと根付いているのを感じるとともに、未だ続くコロナ禍にあっても、素直で元気に活動する子供たちの生き生きとした様子を何よりも嬉しく思っております。本校の教育理念「やさしさ 勇気 喜び そして夢」のもと、子供たちの健やかな成長を目指し、なお一層の充実した学校経営に努めてまいります。本校の教育活動に対しまして、引き続き温かいご支援・ご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

西が岡小学校長 口川 浩子



この四月に、西が岡小に新任校長として着任いたしました。
着任して数日たった朝、校庭で地域の方がお声をかけてくださいました。

「この学校は、ずっと学校を見守っている地域の方がたくさんおられる学校なんですよ。」なんと心強いお言葉だったでしょ。子どもたちとの学校生活が始まると、地域の皆様の温かな支えを感じる毎日です。未だ感染症への対策は欠かせませんが、子どもたちが少しでも安心して伸びやかに生活できるようにと、たくさんのご協力をいただいております。地域の皆様とともに、西が岡小の合言葉「元気いっぱい夢いっぱい笑顔あふれる西が岡」を目指してまいります。今後もご支援をよろしくお願ひいたします。

宝木地区まちづくり協議会のホームページが出来ました



<https://www.takaragi-machidukuri.com/>



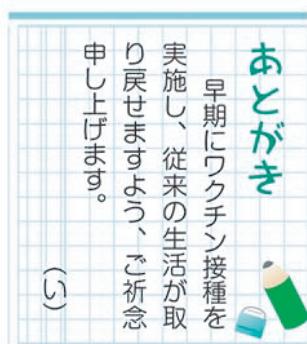


ビール缶やペットボトル等が、道ばたや空き地に投げ捨てられている状況を目にしたことがあると思います。全くきれいになつているところには、ちょっと抵抗があるようですが、二～三個落ちているとほとんど抵抗なく投げ捨てられてしまう傾向にあります。

なお、コンビニから二百～三百メートルの地点にも多く見られます。飲み終わり、自宅までは持つて行かず、投げ捨てていくケースが、考えられます。

お互いに自分の街のルールを守りましょう。

ビール缶、ペットボトル等 ポイ捨て禁止警告板の 設置について



「花と緑の街づくり」をモットーに各自治会管内に、フラワーボックスを設置致しました。

木枠を新たに作成し、その中にフラワーボックスを入れて美しい仕上がりになっています。

設置当初は、季節柄パンジーを植えて関係箇所に設置しました。

配置先は、各自治会管内の公民館、公園ならびに、各自治会において賛助会員になつて頂いている、お店や事務所の入り口等に設置をお願い致しました。皆様から好評を頂きましたので、今回は、マリーゴールドならびにサルビアを植栽し、「花と緑の街づくり」に貢献してまいりたいと思います。

フラワーボックスの花 春から夏へ衣替え



パンジーからマリーゴールド及びサルビアへ植え替え